

がんばるバイクショップの 情報マガジン

ヤマハニュース

Yamaha News



特集●懸賞論文・入選作発表

“私たちの週末”

週末はバイク

夢・未来

ハローナイスショップ●(有)ヤマガミ
「信頼」という名の財産

1996 No.396

8

AUG.

アメリカ西海岸。ドラッグスター
にいちばん似合う場所。海の見
えるパーキングエリアで一服
していると、声をかけられた。
「ツーリストかい?」「そうだ」
「アレに乗ってきたのか?。い
いバイクだな」「ああ、最高さ」
「なあ、ちょっとだけ乗せてくれ
ないか」「いいルをおこるよ」

拝見！となりのお店

HELLO NICE SHOP

ハローナイスショップ



山上社長が講師を務めた「第1回合同ヤンクライダーズクール」(開催日:7月15日 会場:向ヶ丘自動車学校)には、高校の先生方も多数駆けつけた。「10年前なら考えられないことですよ」と山上社長

(有)ヤマガミ

神奈川県川崎市 (山上英治社長)

「信頼」という名の財産 いつの時代も変わらない

〈原付免許教室20年の実績と、業界活動への取り組みで築いたお店の財産〉

時代に左右されがちなバイクショップのご商売。しかし、競争力のベースとなる独自の財産を持ったお店は、いつの時代も変わらない安定したご商売を展開されています。今月のモデルは神奈川県(有)ヤマガミさん。多彩な地域活動で地元の信頼を築いた同店の揺るぎない財産をご紹介します。

「数年前に数えたことがあるんですが、その当方で軽く1000人を超えてましたから……。そうですねえ、おそらく12000〜13000人くらいはいるんじゃないですか」

(有)ヤマガミさんが原付免許教室をスタートしたのは、今をさかのぼること20年前の昭和52年。以来「毎月第3木曜日は免許教室の日」と定め、一度として休むことなく現在まで続けている。冒頭の数字はこの教室で講習を受けた卒業生の数である。

「もちろん最盛期と比べれば人数も減ってきてますし、こうした活動が100%販売に結びつくわけじゃないですから、漠然と開くだけじゃ長くは続けられなかつ



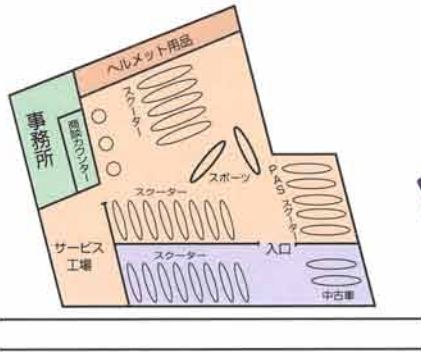
(有)ヤマガミ

神奈川県川崎市

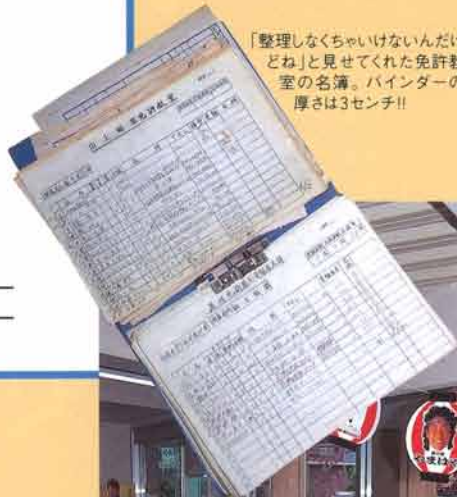
昭和45年オープン。商店街の売り出しや組合活動といった昔ながらのご商売に加え、幅広い品揃えと積極的な販促活動で、新旧それぞれの住民に愛される地域密着型のショップ。商圏内に大型の住宅地を抱え、また駅が遠く坂道が多いことなどから、スクーター需要の多い市場でもある。



二人三脚で原付免許教室を支えてきた山上社長夫妻。お客さまの送迎を担当する奥さまは、「送り迎えの車の中がビジネスチャンスなんです」と話す



「整理しなくちゃいけないんだけどね」と見せてくれた免許教室の名簿。バインダーの厚さは3センチ!!



店頭には免許教室の告知が。この他にもチラシなどで案内しているが、最も多いのは「卒業生からの紹介ですね」

整然と片付いたショールームは、免許教室の会場にもなる。参加者は毎回1~8名ほど

たと思います。毎月の開催となると、店にかかる負担も小さくないですからね。ただ、うちの場合は長い目で商売を見ながら地域で愛される店を目指してやっていますので、免許教室もその一環と考えているんです」

一冊のバインダーに綴じられた卒業生の名簿は、厚さにして約3センチ。「言ってみればこれがうちの財産ですよ」と、山上英治社長は目を細める。これだけの歴史がある教室だからこそ、親子2代の卒業生だって珍しくはない。年齢も16歳の高校生から70代のシルバーまで、とにかく幅広いのが特徴だ。

教室の翌日は、二俣川の試験場までの送迎も実施している。その送り迎えを担当する奥さまは「中には33回目やっと合格した方もいましたし、つい最近では70歳近いおじいちゃんも受験しました。教えるこちららも必死でしたけど、そうして苦労をともにした後にへおかげで世界が広がりました」なんて言われると、ますます頑張らなくちゃと思いますね。意地でもやめられません！」と笑う。

また、二普協の指導員を務める山上社長は、地域で開かれるさまざまな安全普及活動にも積極的に取り組んでいる。先日にも県立高校川崎地区交通安全教育推進委員会などが主催した「第1回合同ヤングライダースクール(高校生対象の実技講習会)」の指導員として、現役高校生の乗り方指導を行なってきたばかりだ。

「神奈川県はへ三ナイ運動」発祥の地ですから、10年前なら先生方の前で乗り方指導をするなんて考えられなかったことです。でも、業界が足並みをそろえて地道な努力を続けた結果、「こゝまで来ることができました。こうした状況の中で、今私たちができるといったら、バイクの事故を減らすことしかないと思うんです。そのためでしたら私は協力を惜しみませんし、それがバイクショップとしての責任だと考えています」

こうして築き上げた地元住民との揺るぎない信頼関係が、「来店者のほとんどが紹介のお客さん」という、同店の堅実な「商売」につながっていることは間違いないだろう。

“私たちの週末” 夢・未来

今シーズン、ヤマハはスポーツバイク市場の活性化、需要創造活動の一環として『週末はバイク人』キャンペーンを展開。さまざまな媒体による告知活動やイベントで、お客さまに「バイクに乗ろう!」と呼びかけました。そのひとつが、「私ならバイクと一緒にこんな週末を過ごしてみたい」「今、こんなバイクライフを過ごしている」といったアイデアや夢を募集した懸賞論文です。

この反響は大きく、全国から1883通ものご応募をいただきました。ここですべての作品を掲載することはできませんが、厳正な審査の結果、最優秀賞1作品および優秀賞5作品が決定されましたので、ご紹介します。

週末はバイク人
びと

(注) 作品の意図を尊重するため、文章は抜粋などの手を加えず、できる限り原文に忠実に掲載しました。ただし、タイトルのなかったものは「週末はバイク人」として表記してあります。

● 最優秀賞 ●

週末は バイク人

山田須美^{すみ}さん

滋賀県野洲郡 / 34歳 / 主婦 / 原付・有

「週末はバイク人」、土曜の朝この新聞広告を見てすぐに、ダンナを起した。

「週末はバイク人」って高ちゃんのこと書いてあるよ。今日は天気もいいし子供が起きる前に、はよ走りにいっておいでよ」去年の11月に新しい400ccのバイクを買ってから、休みごとにほんのちよつとの時間をみつけては、外に飛びだしていく。

しかし悲しいかな、この冬の滋賀は、例年より寒さが厳しく雪も多い。その上、仕事も忙しかった。ダンナは、はやる気持ちをおさえ冬眠するアナグマのように春を待っていた。そして3月中旬のこの広告。なんとダンナにピッタリの言葉だろう。書いてある通りだ。うんうん。原付免許しか持たない私にだつてうなづける。そうだ、自分を知り大事にし、そして人間として成長する。バイクと過ごすことによつて、より一層自分の時間に深みが増していくようだ。しかし、ダンナのバイクはカッコよくていいけれど、うちは3人家族。ダンナと私、そして3歳になる娘がひとり。残された私と娘はどうしよう。3歳じゃふたり乗りもできやしない。ということ、私がバイクを買うときに出した提案は、交通手段をバラバラにして目的地でいっしょに遊ぶということだ。

子供は電車やバスが好きだから助かるし、所要時間も車にくらべてまちがいが少ない。バイクも道の混乱をすりぬけて抜け道を通ったりと融通がきく。待ちあわせの時間がそうそうずれることもない。みんないっしょに車で移動して息をつまらせたレジャーを楽しむよりも離れていることでより相手を気づかい、やさしい気分ですぐにレジャーというものだ。まずは手始めに、彦根、長浜。そして京都。鈴鹿やお伊勢さんに一泊旅行もいいかもしれない。バラバラでいるようでも心はひとつ。

たった一台のバイクだけど、そして私は乗ってもしないけれど、それでも、バイク一台から私たち家族の休日は楽しく広がっている。

● 優秀賞 ●

私の週末

バイクライフ

田中 征生まさおさん

神奈川県横須賀市 / 53歳 / 会社員 / 自二・有

乗ってる乗ってる乗ってる乗ってるヤマハメイト……メイトに乗れば安上がり。このコマーシャルソングが街中を駆け巡っている頃が今考えると、私の青春時代であったかもしれません。

住んで居る所が三浦半島の中心でしたので、バイクに乗り、よく釣りに出掛けてたものです。東京湾、城ヶ島、荒崎、葉山、相模湾、と幸いな事に釣り場にはことかきませんでした。バイクを買う前は自転車でしたので、一気に行動範囲が広がりとでもうれしかった事を覚えています。

又、その反面、あまりにあちこちと走り回った為、ごく丁寧な事に一日のうち午前午後の二度、白バイの御世話になった事もありました。二度目には免許証の代わりに午前中の違反切符を見せた為、白バイの警察官もさすがに苦笑していました。

いろいろな事がありました。その頃バイクは一番の友達でした。何年か後、私も人並みに家族を持ち、バイクは車に変わり、バイクという言葉は私の中で忘れ去られた存在となりました。

娘が免許を取り、中古ですが250ccのバイクに乗り始めました。半年後、県外に就職した為にバイクを置いて行き、しばらくはそのままになっていましたが、「乗ってみようかなあ」ふと思えばエンジンをかけてみると、いい音です。私の大好きな音です。

早速その晩娘に電話し、そのバイクを私が買い取る事で合意。もちろん娘が買った値段です、親ですから。

「田中さんのところも、もうお子さんが一緒に遊んでくれないでしょう？ われわれで遊びましょうよ」そのバイクを修理に持っていった時の店主の言葉です。「はっはっは、うまい事を言いますね、確かにその通りかもしれませんね」その日以来、店主のグループの一員となり、月に一度の走りを楽しんでいます。

それ以外はほとんど一人で出掛けます。地元三浦半島はもちろん、湘南海岸、真



鶴半島、伊豆半島、富士、箱根、奥多摩、そして房総半島へと、日帰りでも結構遠く迄行かれます。海辺の道を、湖の回りを、林の中を、風を切って走る爽快感は素晴らしい、たとえようありません。

バイクに積めるアウトドア用品を揃え、もっと自由に、もっと遠くへ、空の中を雲と一緒に走り、花をみて、樹木(きぎ)と語らい、目的といえはただ走る事。

道が二つに分れたら、その時の気分で右へ行くのもよし、左へ行くのもよし。日暮れになれば星の下で、明日へ思いを馳せながら、せせらぎ聞いて草まくら。そんな気ままな一人旅、これが今の夢です。私の友達、バイクと過ごす第二の青春です。

現在、娘は結婚し、婿さんとそれぞれバイクを持ち、私のバイクも新車となり、さらに息子もバイク仲間となりました。昨年は週末に箱根一帯を4人でツーリング、今年には「ぜひ北海道へ」と計画中です。実現すればわがバイク人生最大のイベントとなります。心の中でバイク屋の店主にこう言っています。「うちの子はまだ暫くは私と遊んでくれるみたいですよ」と……

栗原亮さん

神奈川県横浜市／62歳／自営業／自二有

バイクと共に迎えた

長い会社生活のあとの週末

(定年後の時間)

昭和35年経済成長期、これも成長期にあった企業の大卒社員大量初採用のなかになにか潜り込むことが出来ました。

一番先にやりたかったのが、バイクを手に入れること。当時、それは大変な思いをして、ようやく手に入れたのが中古の中型バイク(ヤマハVD5)でした。それは、ようやく自立の入口に立った若者を、自在に羽ばたかせるための、まさしく天馬そのものでした。

その後、時代は、マイカーの時代となり、しばらくバイクのことも忘れ、それなりに会社人間として、サラリーマン生活を過ごしました。

でも気がついてみると、会社も大きくなり、その中には、もう私だけが必要としてくれる部分も無くなっています。そのまま、中に埋もれて終わる自分が見えて来ます。でも、まだ体力も精神力もあります。それに、この頃になると、むしろ自由な時間をふやすことも可能です。何かまだできる。この境遇を何かプラスに生かす方法は？と、思いを巡らします。

ヨット・別荘、お金がかかりそう。ゴルフ、人並み。RV・スポーツカー共に反環境的。そうだ！バイクがある、これなら許されそう。とても頼もしく思い出しました。

こうして、もう一度、バイクを身近に思いはじめた時、バイクを降りてからのプランクは20年以上。年齢も、世の中では、いい年をして、と云われそうな、もう40歳代も終わりに近づいていました。

周囲を見ても、どうも遅すぎるような気がします。でも、ちよつとした目立ちたがりも時には必要でしょう。勇気を出しました。自分を取り戻す為の仕掛けとはいっても、それほど大きさに考えたくない。特に、大人が大枚をはたいて、今更、ピカピカの

バイクなど、ぶざまになるだけ、と、町の片隅で見かけた古い単気筒500cc車(ヤマハSR500)を手に入れました。

休日、行楽地の給油スタンド。ヘルメットをはずします。中から出てきた白髪混じりの頭を、不思議そうな顔で眺めて通り過ぎる観光バスの乗客達が目に入ります。この、ちよつとわざとらしいしぐさも、何時しか身に付いていくものです。

キックスタートの、それなりに頑固なバイクを、この年齢でも乗りこなしているという満足が、当時、腰痛の傾向が出ていた中年のからだを10年以上も若返らせたようです。現在では腰痛の体験さえ思い出せなくなっています。これもバイクの効用でしょうか。

数日の休暇がとれたとき、その前半をバイクの一人旅に出ます。朝4時、家族を起さないように、本当は起きられると、何となく後ろめたくて、出難くなるのです。そつと起き出し、バイクを押し出します。

国道へ出ると、左は東海道の下り。どっちにしよう、左にしよう。結局は箱根を越え、沼津、伊豆半島には入らずそのまま浜松、四日市、天理市を通過、夜に入って那智勝浦まで700キロを18時間、全行程を一般道路です。これはバイクだからできる変化に富んだ移動です。

現代のバイクは、殆ど手間いらずです。以前のバイクなら、このレベルの旅行には可成りの準備と、心構えが必要だったので、普段、暇をみて、埃をとりながら、各部を触っておくだけで、旅行の途中、突発的に故障することなど殆ど考えなくてよくなっています。

ただ、白髪の老人？がバイクをいじくっていると、近所の子供が、「おじさんは、おじいさんか？おじいさんか？」と聞くのです。どきり！年甲斐のないことをしているのかな？バイクという、ちよつと玩具的、趣味的な機械をいじくっている中年以降の人間は、子供心にも普通の姿ではなく見えるのでしょうか？

ゴルフクラブを抱えている父親だけがオフタイムの男の姿なのでしょうが？

中型バイクの時代、一緒にいる前の妻を後ろに乗せ無帽で走り回っていた頃、うらやましく見上げた外車のなかで一つの銘柄品がありました。勿論、とても、若者に手の届く物ではありません。

そろそろ退職金の金額も予想が出来るようになったとき、もしかしたら、あのバイクが持てるかも……。でも、60歳になってから、果たして200キロを超える重量車に

“私たちの週末” 夢・未来

乗れるかしら。

そうだ、もう時間切れに近い。退職金を待っているわけにもいかない、と、おそろおそろ中古を手に入れた時は、もう定年まで5年を残すだけになっていました。

いざ定年が近づくと、郊外の事業所への異動です。コンピュータ技術者の事業所です。そこは、もう私を仕事場として必要とされているところではありません。重要な人と会う機会もありません。スーツを着て、事業所までの地方路線バスに乗る方が、むしろ、はじめに思えます。ロッカーに正装一組を準備して、ジーンズと革ジャンでの通勤に変えました。普段、バイクと共に十分着こなしているもの、様になっていたのかも。

天気の良い日には、超200キロの重量型バイクでの通勤です。当然、偉い人ではないのだから、皆親しみを持ってこの行動を許してくれたようです。守衛さんは屋根のあるコーナをバイクのために用意してくれました。若い社員たちも話しかけてくれます。おかげでこの退職までの3年間、仲良くなった若い社員が先生役で入れ替わりパソコンを教えてくださいました。これは現在の私の重要な財産になっています。

退職の日も近くなってきたとき、長期の休みを取って退職後の予定をしました。妻と一

人での北海道タンデムツアーです。バイクのフェリー料金は安い。航送料金の安い分、より快適な船室が利用できます。船も新造船で快適でした。中年過ぎの夫婦のタンデムツアーは珍しさもあるのか、何処でも大歓迎を受けました。

この予定にかかわらず、退職後はむしろ忙しくなり、タンデムツアーを楽しむ時間が無くなってきました。妻に前もってスタートさせていた和食器の店の商いがあるからです。店の前には手持ちぶさたな風情で店のシンボルでもあるバイクがあります。

でも、何時にでも、その気にさえなれば、このバイクは私たちに時間と距離を大きく広げて与えてくれるものです。同時に、これが動かせるといいう自信が、若さの原動力ともなっています。

ある日、この超200キロのバイクを押しながら、その重さにちよつとたじろいだとき、それがバイクライフに別れを告げる時かもしれません。しかし、すぐにはこの時は訪れてこないようです。

春が過ぎ、各地から峠を越える道路の再開を知らせる便りが届きはじめると、もう落ちつきません。夢を追う若者の気分です。



バイクで

大山智明さん
ともしあき

鹿児島県川内市 / 23歳 / 会社員 / 自二・有

「見舞品」を作るぞー!

「祖父が入院した」と母からの電話。
俺は見舞いに行く時間と金もない。
そこで思いついたのが「ビデオ」。

鹿児島県内の名所を地図でチェック。祖父の興味を魅く所をえりぬく。
毎週週末にバイクを飛ばし現地に行く。祖父からもらったビデオで祖父にプレゼント
するものを撮っている。

桜島、霧島神社、いごま山の菜の花、指宿、花を求めて走る。
初めての経験だ。風景や花、鳥、動物とビデオにおさめる。

何か不思議な一瞬だ。

「じいさん早く良くなって旅行に来いよ」
と一筆そえて送ろうと思う。

1600キロ離れた地の病院の一室にいる「じいさん」を思うと目頭が熱くなる。

「免許取ってからバイクに乗れ、マフラーはずして乗っちゃなんねえ」と頑固なじいさま
のお陰で楽しくバイクに乗ることを悟った僕。命の恩人かもしれない。今はバイクの
恐さも充分理解し、週末はバイクで一人旅したり、モトクロスで競技したりと離れられ
ない関係になっている。



“私たちの週末” 夢・未来

● 優秀賞 ●



上田逍遙は

バイクに限る

加藤壯三さん

しょうぞう

神奈川県横浜市／56歳／会社員／自・無

一人娘が結婚してかれこれ三年になる。相手は大学の同級生で、学生時代から本人たちはその積りだったらしい。知らぬは親ばかりなりと言った所だろうが、ナニ、私だつて薄々と感じていたのだ。

私は車を運転するが、二輪の類は自転車以外やらない。家内に至っては、その自転車すら乗れない。ところがある時、娘が筑波や鈴鹿に行ってるらしいと言う話が、私の耳に入った。筑波や鈴鹿と言えばオートレース。私自身仕事で何度か通った所でもあるので、娘が何のために行つたのかはすぐ分つた。だが娘とオートバイ、どうもわが血筋に合わない話ではある。こんな時父親がヒーンと感じとるのが、何やら不吉なオスの臭いである。この野郎！

そうは言っても至つて気の小さい私である。そんな不安はおくびにも出さず、すこぶる付きの優しい父親を演じて、一年一年白髪を増やすことと相成つた。

さて某月某日娘がその彼を家に連れて来た。予告されていたのでこちらも心構えとして、父親の威厳を存分に發揮する筈だったが、現れた彼たるや、わが家の応接間に入るのに45度も御辞儀をしなければならぬ程の長身。その大男ぶりに威圧されて、私

の方こそ縮こまつていたような気がする。その彼が大のオートバイ党なのである。二人は結婚して信州上田にいる。ムコ殿は相変らずオートバイに熱を上げていて、週末ともなるとソワソワしているらしい。

だが事態は急変している。挙式後1年にもならないうちに孫が生まれたのである。余計な事かも知れないが、日数は合っているので心配なく。その孫が、何とまあ、可愛いのである。私に似て男つ振りが真によろしい。先様にもおじいちゃんがおられるが、ナニ、あれは間違ひなくワタシ似だ、と自分に言い聞かせている。聞けば先様も同じことをたもっているらしいのだが。

私たちは横浜在住の老夫婦だが、今や初孫の在します信州上田が、わが家の台所と同じ位身近な場所となつてしまった。家内は毎日のように電話して、可愛い声を聞くのを楽しみにしている。勿論時間さえあれば上田に行きたい気持ちは、お互い負けていない。

上田は美しい。千曲川に沿つてなだらかな山並みにはさまれて、四季折々の魅力に輝やく町である。何度か車で出かけてみたが、その度に魅了されている。

自然の美しさもさることながら、歴史的にも古い町として、興味の尽きない所である。少年時代胸おどらせた真田十勇士の闊歩した所、そして鎌倉時代の面影を多分に止める塩田平のいくつかの寺院、そして温泉。一寸足を延ばして小諸へ行けば、藤村の作品の世界に浸ることができるのも、往年の文学青年にとつて見逃せない楽しみである。

だが歴史的に由緒ある町の良さは、大通りから外れた路地にこそあると言つてよい。車で行ったと言っても、殆ど孫の顔見たさに直行するだけの私であるから、まだそんなに裏通りを知る由もないが、なるべくならばそんな所をのんびりと逍遙してみたいものだ。それには悔しいかな、バイクで行くのが最適なのだ、と悟りはじめた今日この頃である。

バイクは町の風を切つて走る。大通りだろうが路地だろうが、はたまた千曲川の土手だろうが、その可動範囲は広い。自動車とは比べようのない程、自由を満喫できる。町の表情を見られる。人情に触れられる。その機動力に似合わない程の徒歩感覚で、町並みに溶け込めるのである。

そんなこんなで近頃の私は、バイク雑誌に取りつかれ出した。いつの日か二輪の免許を取つて、孫の家を基地として上田の町を存分に楽しんでみたいのである。そして時にはムコ殿の子分格として、オフロードだろうがツーリングだろうが、のこのこ行ってやろう、と考えている私なのである。

● 優秀賞 ●

週末は 妻とバイクで 二人連れ

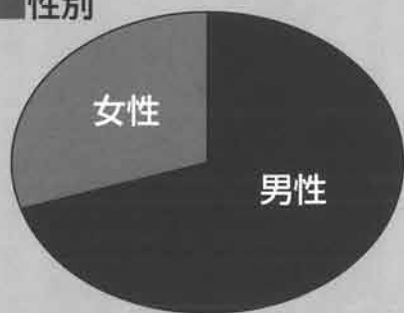
鈴木昭次さん

東京都西多摩郡 / 56歳 / 公務員 / 自・有

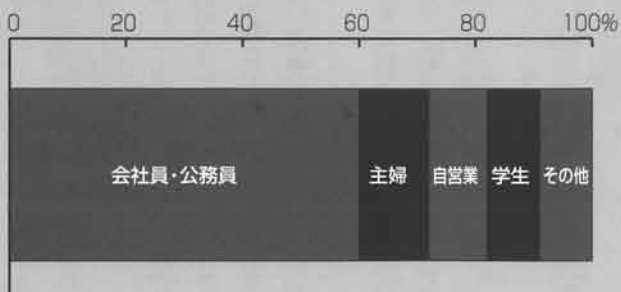


近ごろ外国旅行の話題を身近に聞くことが多い。ところが私たちが夫婦は外国はおろか、人並みな国内旅行すらしたことがない。ときによるとこのことが悩みであり又、劣等感となることがあった。
 事実は、行かないではなく、乗り物酔いがひどくて行きたくても行けないのが本心であります。

■ 性別



■ 職業別



応募者はこんな人たち

今回の懸賞に応募された人たちのプロフィールをまとめてみると、まず意外なことに気づく。すべての人はバイクに興味を持っているか、少なくとも肯定的な人たちだと考えられるが、そのなかの3割はバイクにまったく乗ったことがない人たちなのだ。

しかも“昔乗っていた”人まで含めると、“現役ライダー以外”の人たちが半数を占める。社会的な認知度の高まりをあらためて感じると同時に、こうした人たちこそ有望な潜在需要層だと考えられる。

それも、ボリュームゾーンの30歳代より上の層が多いようだ。作品の傾向をみると、年配者は「以前バイクに否定的だったが、今のライダーを見ていて偏見だったと気づき、自分も乗ってみたい、バイクで旅してみたいと思うようになった」あるいは「今は乗っていないが、若い頃バイクでずいぶん思い出を作った。最近ようやくお金や時間に余裕ができて、またバイクに乗りたくなった」という、2つのパターンに分かれる。

逆に若い人たちは“現役”が多く、「旅先で出会ったあの人」や「タンデムで旅した彼女」との思い出、「仲間と走った信州」の風景などを思い描いた作品が多かった。グループ行動を好まないとか、人間関係を億劫がるなどといわれる若者たちだが、夢に描くのはやはりバイクを介した「人とのふれあい」なのだ。

また、もうひとつ見逃せないのは女性。応募者の3割はかなりの多いといえるし、その半分は主婦だ。投稿する時間がたくさんあるから、ともいえるが、作品を読むとバイク経験者がかかり多く、「不自由な日常から脱出」したり、「独身の頃の自分を取り戻したい」と願っている。

さて、最後に一番のボリュームゾーンとなっている30歳代は、典型的な例を挙げるとこういうタイプだ。「35歳・会社員・男性・子供ひとり」そして「自分の最後の砦であるバイクだけは、絶対手放さないぞ」と決意しているか、「いつかまたライダーに戻りたい」と夢見ている。かつてのバイクブームを支えた中心層ともいえるこの年代。秘めた思いもひと倍なのだ。

詳しくは、全部の作品を1冊にした本が発行される予定なので、ぜひ一読をおすすめしたい。お客さまの秘められた心情を知るには、最適な参考書といえるだろう。

“私たちの週末” 夢・未来

特に妻の場合はひどく、私の運転する乗用車でもあまり遠くへ行けない、バスや電車でもまったく同じだ。

車酔いは、自分で運転するとかからないと云う話を聞いたので、運転免許を取得するようにと進めたこともあったが、とてもその気持ちになれないと云う。それではバイクではと、バイクの免許はとってみたいものの、とうとう自分からは走れないまま、苦勞してとった免許も失効してしまった。

このような状況のために、本人は車に乗ることや、人並みに旅行する事などほとんど諦めていたようだ。

ところがある日のこと、かつては非常に嫌がっていた、バイクの二人乗りをしてみたいと言出した。

突然のことなので理由を聞いてみると、何のことはない、ある日のこと中年の夫婦が大型バイクで颯爽と走っている姿を見かけ、その格好の良さに年がいてもなく、これを真似てみたいと云う、実に子供のような話だ

私にできることなら、なんとかしてやりたいと思っていたし、元々バイク大好き人間であり、何よりバイクはエンジンに直接またがり、マシンと一体になり、全身で風を受けながら野山を、あるいは渋滞中の街中をスイスイ走ることの爽快さは、なんとも言えない。私は、即座に了解し、直ちに物置に大切に保管しておいた、年代物のオフロードバイクを点検し走らせてみた。久し振りであったが、しばらくすると感も少しずつ戻ってきたようだ。数日後二人して、走ってみるとスリルもあり実に楽しいと云う。

走行中に若者らと合々とVサインの挨拶をしてくれる。私たちもバイクに乗ると若返ったように、行動半径も徐々に広がり週末が待ち遠しい。

ところが少し気になることがある。この愛車(バイク)には申し訳ないが、私たちと同じように、すでに定年間近になっており、見た目にも骨董品のようだ。

ところが、ある日のこと新聞紙上に「ヤマハ・マジエスティ250」の華麗な勇姿が大きく掲載されており、これに見とれていると隣から妻も覗いて「このバイクだ」と大きな大きな声をはりあげた。

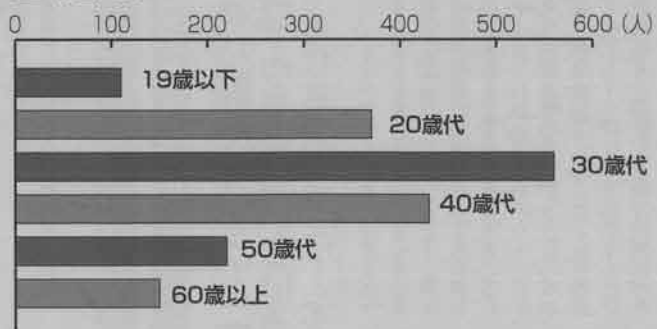
妻が感動し、そして彼女の気持ちまでも変えてしまった、あの時の中年夫婦が乗っていたバイクがまさにこれだと云う。

その場で二人はしばらく沈黙し、互いに躊躇することなく、決めてしまった。

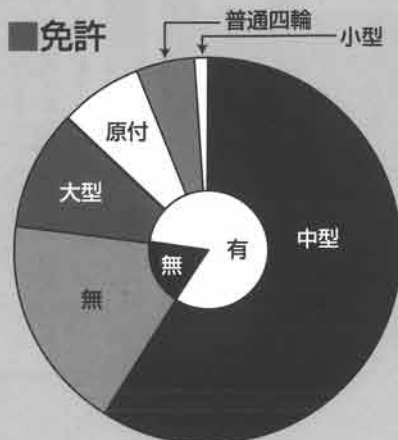
今年の夏には週末だけでなく、思い切って、ゆつくりと二、三泊しながらのツーリングに出かけよう。

子供たちや、友達にもまだ内緒だが、このバイクを購入しての計画である。

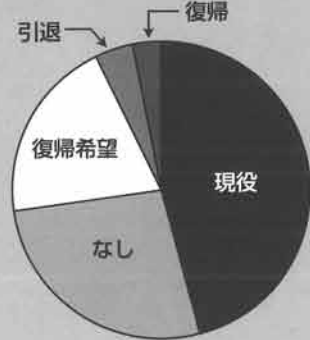
■年齢別



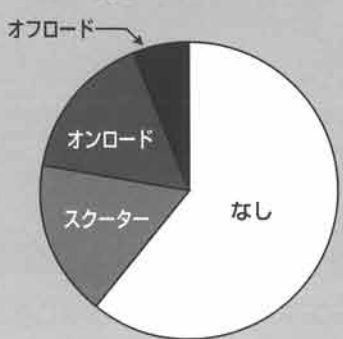
■免許



■バイク歴



■所有バイク



※今回 特集を拡大して収録したため、「ヤマハニュースインタビュー」は休載させていただきます。ご了承ください。

FROM SERVICE

サービステクニクを競い、磨き合う
『ヤマハ整備士コンテスト』
今年も9月から地区大会がスタート



「ヤマハ整備士コンテスト」は、みなさんが日ごろの業務のなかで培ったサービステクニクをお互いに披露し合い切磋琢磨しながら、さらなるお客さま満足度向上にお役立て頂きたいという目的で、89年にヤマハサービステクニクとしてスタートしたものです。そして、昨年から現在の名称に変更し、今年7回目を迎えるようになっています。全国大会は、11月初旬、静岡県・沼津で開催する予定ですが、それに先立ち、9月初旬から1か月間にわたって各地で地区大会を行いますので、ぜひみなさんの積極的なご参加をお願いします。

■第7回ヤマハ整備士コンテスト
対象店・対象者：ヤマハスター店に認定された販売店の店主およびスタッフで、ヤマハ

FROM ACCESSORIES

ロイヤルスターを飾る専用パーツは
やっぱり専用のカタログで見たい

ヤマハ・クルージングバイクの新たなフラッグシップとして登場した「ロイヤルスター」は、海外、国内を問わず大きな人気を得ています。特にファンが注目しているのは、伝統的なアメリカンスタイルを色濃く残すデザイン。見ているだけでオーナーシップをくすぐり、自分の好みにアレンジしてみたい魅力があふれています。

そこでヤマハは、ロイヤルスターの生まれ故郷・アメリカでさまざまな専用アクセサリーを製作。美しいクロームメッキやブラックレザーによるパーツ類、バッグ、ジャケット、小物まで約40アイテムをラインナップしました。

「96ロイヤルスター・アクセサリーカタログ」A4/8ページ/オールカラー。ご注文は担当の部品セールスまで

さらに、これらのすべてを一冊に収めたオシャレな専用カタログも用意。ハイグレードなロイヤルスターを、より個性的に演出するためのアドバイスツールとして、ぜひご活用ください。



■YTSヤマハ二輪車整備士講習会

整備士資格を所有する方
開催クラス：ヤマハ整備士資格による①へイシニック ②マスター
日程・会場：詳しくはヤマハの各サービステクニク担当者までお問い合わせください。

ブロック	8月	9月
北海道	M 28~30	
東北		B 青森日 M 3~5
東部		B 京都
中部		B 米子
中国		
四国		
九州		

八月(葉月) ことよみ

盛夏、一年を通してもっとも暑さを感じる月です。何事も「過ぎたるは及ばざるが如し」といいますが、昨年、一昨年ほど猛暑でないことを願いたいものです。

暑いと体調を崩しやすいのはもちろんですが、精神的なバランスも失いがち。ついイライラしてお客さまへの対応が疎かになり、つまらないミスをしてかたじけなく、ロクなごになりません。こまめに顔を洗ったりシャワーを浴びたり、あるいは体操で身体をほぐしたり、意識的にメンタルリフレッシュをはかりましょう。

■8月の行事・祝祭日

- 8月7日(水)：立秋
- 8月15日(木)：終戦記念日、月遅れ盆
- 9月9日(月)：重陽(菊の節句)
- 9月15日(日)：敬老の日
- 9月20日(金)：彼岸入り、動物愛護週間

- 9月21日(土)：秋の全国交通安全運動
- 9月23日(月)：秋分の日
- 9月27日(金)：十五日
- 8月9月の大安
- 8月/2日(金)・8日(木)・18日(日)・24日(土)・30日(金)・9月/5日(木)・11日(水)・16日(月)・22日(日)・28日(土)

- セール、イベントのキーワード例
- 「帰省記念・ふるさと自慢フォトコンテスト」
- 「残暑納涼・地方みやげパーティー」
- 「夏休みラストチャンス・セール」



FROM Y.E.S.S.

ヤマハ開発スタッフと一緒にツーリング

秘話・ウラ話もいろいろ飛び出す? 『YESSランチミーティング』開催

ドラッグスターやXJR、マジエスティにセローなど、さまざまなヤマハスポーツモデルの開発者と一緒のツーリング。そして、興味津々の開発秘話も聞ける! そんな楽しいイベントが「YESSランチミーティング」です。

これは、現在ヤマハが展開している「週末はバイク人」キャンペーンの一貫として用意したもので、ツーリングコースやミーティングの内容にも各地区のYESS事務局がそれぞれに趣向を凝らした、この夏から秋にかけてのスペシャル企画。

ぜひ、多数のお客さまをお誘いのうえにご参加ください。日程など詳しくは、担当のヤマハセールスまで。



地区によってはすでに開催されているところもあり、それぞれ大きな盛り上がりを見せている。写真は8月22日/23日・SUGO会場

250、125とも着実に進化したYZ

プレス試乗会で好評価続々!

USカブのインクブルーを身にまとい、新登場の97ヤマハモトクロッサーYZシリアルズ。そのオフロード専門誌向け試乗会を、発売に先立つ8月21日、栃木県・佐野スポ



「作動性がよく、踏ん張りも利く」など、サスペンションに対する評価も上々

ーツランドで開催しました。今回試乗を行なったのは、ニューYZシリーズのうち250と125の2機種。どちらもエンジンや車体各部にさまざまなリアインを施したモデルです。フラットな河川敷特設コースでの試乗となった今回、インプレッションはいずれも着実な進化を高く評価するものばかりでした。

「250のエンジンは、下のトルクが強くパワーを感じる」「パワーアップした125のエンジンは、特に高速度で気持ちよく伸びる」「250の車体はバランスがいい。現行モデルと比較してもかなり煮つまつてきているようだ」「新しいハンドル形状、ポジションはスタンディングでの扱いやすさが特徴で、自由度も高い」などの声が聞かれました。

これらの詳しい記事は、7月中旬以降発売のオフロード専門誌に掲載されます。

CRANK CASE 町で聞いた

買い物をする ちよつといひ話 楽しみ

最近、友人のひとりが「セロー」を買った。彼は以前から溪流釣りが好きで、その移動用に使いたいとわざわざ二輪免許を取ったばかり。そこで初めていくつかのバイクショップへ足を踏み入れたのだが、ある時ホツリとこういった。「バイクショップっていうのは、あまり買い物をするのがおもしろい店じゃないよね」

例えば釣具屋さんなら、釣り竿1本、ルアー1個買うにも品数が豊富で、時には思わぬ発見、掘り出し物があったりして毎週でものぞきたくなるのに、バイクは1台買うと、そうしばしば買い替えたり買い増したりするものではないし、用品やドレスアップパーツ、小物類を期待しても品揃えは意外に少ない。「何かトラブルがあったり、オイルを買わなきゃって必要がないかぎり縁がない」と思ってしまうわけだ。

バイクショップは売るだけの機能ではなく、技術サービスから遊びの提供までたくさんの役目を担っている。こうした販売以外の魅力で来店促進に努めているお店には「そんなことないぞ」と反論されるかもしれないが、「販売店」である以上、「買い物を楽しむバイクショップ」だってもっとたくさんあっていい。本体販売を考えると店舗規模や価格などが問題にされそうだが、部品・用品や小物なら、例えば先月号の特集で紹介したA&Mサービスさんのようにリサイクルコーナーを設けたり、あるいはケミカル用品に徹底的にこだわった品揃えをしたり、いろんなやり方があるはずだ。ショッピングする立場になって考えてみれば、ヒントはどこにでもあろうと思う。

「バス」初体験に思わず歓声!

「フィール・ザ・PAS・フェア」開催

「ワット、すこい」「こんなに楽しんだ」「21世紀の「ミニ」ターとして、ますます広がりを見せるバス市場に迎えようと、ヤマハでは8月5日、6日の2日間、全国一斉の試乗会「フィール・ザ・PAS・フェア」を開催。初めて体験するバスの不思議なペダル感覚に、来場者の歓声が絶えませんでした。



ペダルを踏み込んだときに表情が一変。誰もが「バス」スタイルに包まれた東京会場)

会場となったのは、東京(東京ドーム前広場)、名古屋(ワンダーシティ)、大阪(千里セルシー広場)、福岡(福岡タワー前広場)の4都市。各会場ともに「バスライナッツ」展示コーナーや体験試乗コーナー、ミニゲームコーナーを設置し、休日を楽しむ買い物客など延べ5000名の来場者を集めました。

なかでも、東京会場は付近に遊園地や野球場といったレジャー施設が集中しているため、10代の若者から親子連れ、年配の方まで幅広い層の人々が来場。15台用意した見せるバス市場に迎えようと、ヤマハでは8月5日、6日の2日間、全国一斉の試乗会「フィール・ザ・PAS・フェア」を開催。初めて体験するバスの不思議なペダル感覚に、来場者の歓声が絶えませんでした。

試乗車をフル回転しても追いつけない人気ぶり、試乗後もスタッフが相手に熱心に質問する姿があちこちで見られました。ヤマハでは、今後でもできるだけ多くの方にPASの魅力を知ってもらい、その利便性を身近に感じていただけるよう、こうしたイベントを重ねて開催していく予定です。



ミニゲーム大会も体験試乗同様の長い列。年配者も子どもや若者に混ざって嬉しそうに参加していた(福岡会場)

LOCAL TOPICS

静岡県の地域交流策に「平、柏、萩原3氏が県立高校でトークショー＆デモ走行

静岡県では、過疎地域振興のため学校を解放して地域交流の場を作ろうという活動を行なっており、このほど周智郡の県立春野高校(遠藤亮平校長、生徒240人)にも研修宿泊施設「立志館」が完成。その落成記念行事として、6月28日、元GPライダー平忠彦さんとトライアル界で活躍する萩原亜弥さん、二輪ジャーナリスト柏秀樹さんを同校に招き、トークショー及びトライアルデモ走行が行われました。

この催しは、全校生徒や県教育関係者、一部父兄が見守るなか、課外授業の形で進行。記念式典の後、3〜4時間目のトークショーに登場した平さんらが「楽しいことを見つければ、柏さんは安全運転の原点」と熱演すれば、柏さんは「安全運転の原点」を力説。先生からも質問が飛び出して、予定時間を延長するほどの人気でした。

さらに、昼食後には萩原選手がトライアルの妙技を披露。人工セクショントライアルウイリー、ジャックナイフターンなどに、歓声と拍手が続きました。

終了後、講師3名が生徒のサイン攻めに



目の前で繰り広げられるスーパープレイに惜しみない拍手が贈られた

あう光景を見た遠藤校長は、「本物の話や演技を直接聞いたり見たりする貴重な体験ができて、生徒たちには思い出に残る一日となったはず。本当によかった」と目を細めていました。

世界GP、ダカールラリーなどの経験を通して語られることは、生徒たちも真剣な表情で聞きつ



マレーシアのビッグバイク展示会 トライアルのデモ走行に来場者も熱狂!

6月6~10日、クアラルンプール国立競技場で250cc以上のビッグバイクの展示会「TWO WHEELERS '96 MALAYSIA」が開催されました。



ライダーの卓越したテクニックにマレーシアのバイクファンも目を見張る

会場には、同国の運輸大臣も来賓として出席。展示コーナーのほか、ライディングスクールなどのイベントも行われ、大変な盛り上がりを見せていましたが、とりわけ来場者の注目を集めていたのが、ヤマハのバイクによるトライアルのデモンストレーション。約4mのタワーセクションや自動車の上を軽々と乗り越えるライダーのテクニックに、今まであまりトライアルに接したことのないマレーシアの人々は驚きの目で見つめていました。



8日(日)には現地のライダーを対象にしたスクールと体験競技も行われた

マレーシアでは、バイクはまだ給料の何カ月分もする大変高価なものです。売り上げは確実に伸びてきています。今回の展示会に来場した人々の様子にもこうした熱気が感じられ、今後マレーシアを初めとする東南アジアの国々ではますますバイクの市場が拡大していくことでしょう。

SPORTS TOPICS

『96ナビスコカップ』初優勝へ ジュビロはグループ2位で折り返し

Jリーグ前半戦を4位で終えたジュビロ磐田は、6月1日からもうひとつの公式戦「ナビスコカップ」に突入しました。この大会は全16チームをA、B、Cのグループに分けて予選リーグを行ない、そのうちの上位2チームずつが決勝トーナメントに進むというもので、ジュビロはAグループに所属しています。

その開幕カード、サンフレッチェとのホーム&アウェイ2連戦をトータル1-1で引き分けたジュビロですが、続くガンバを計8-1の大差で破り、グループ首位に躍り出ました。

点3を献上し、三日天下に終わってしまつたものの、常にゲームを支配する組織力、展開力を持つジュビロは、次のベルマルレを計5-2で快勝。そのままレッズとのアウェイゲームも2-1で勝ち、一気に連勝を伸ばしたいところでしたが、ホームではいったん逆転しながら2-2のドロー。

それでも、しっかり勝ち点3を加算したジュビロは、8月10日の再開まで、2位という絶対のポジションで折り返しました。94年の同大会では、ヴェルディと優勝を争って破れただけに、今度こそ初タイトルへ

「Jubilo Oiei」



カップ戦に入って8得点。中山が得点王争いに名乗りをあげた

子供たちと《海》との距離をもっと身近に! 『浜の風景画コンテスト』作品募集中

今年から7月20日が「海の日」として祝日に制定されるなど、人々の海への関心はここ数年ますます高まっています。

そこで、子供たちに身近な水、海とのふれあいを絵にしてみようとして、漁業や海に対する関心をもっと深め、海を見つめ直すきっかけにしてほしい、とヤマハは考えました。それが「浜の風景画コンテスト」です。今年で8回目を数えますが、全国各地の児童、幼児から応募いただいた作品数は回を重ねることに増えており、昨年は過去最高の5145点にのびりました。

今年も、小学校高学年(4~6年生)、小学校低学年(1~3年生)、幼児の3部門で作品を募集します。みなさんのまわりのお子さまたちにも、ぜひ応募をおすすめください。

■第8回ヤマハ全国児童
浜の風景画コンテスト

主催：ヤマハ発動機株式会社
テーマ：「身近な水とのふれあい」(浜の風景、川遊び、プールなど)
応募資格：小学校6年生以下の児童、幼児
応募規定：作品用紙はA3(297×420mm)以上の画用紙。油絵は同サイズのキャンバス
応募締切：10月31日(木)
賞典：各部門に金賞2名、銀賞4名、銅賞6名、佳作10名、財団賞1名、フィッシュアリーナ協会長賞1名。また応募者全員にオリジナルスケッチブックを贈呈
応募方法：作品の裏面に作品名、住所、電話番号、本人氏名、性別、年齢、学年、学校名、保護者氏名を明記のうえ応募先まで郵便か宅配便で送付
応募先：〒435 静岡県浜松市篠ヶ瀬町810 ヤマハ全国児童「浜の風景画コンテスト」係

ヤマハのストックマシンでセナに挑戦! 本格派カートレースゲーム 「アイルトン・セナ Kart Duel」登場

かつて、スーパーファミコンのゲームで「マリオカート」というのが人気を集めました。8月上旬新発売の「アイルトン・セナ Kart Duel」はもうひとつの「アイルトン・セナ」です。登場するマシンはすべて、ヤマハRC100SD、WF100SD、RC100Z、カート独特のスピード感をホリコンで忠実に再現し、迫力あふれるドライバ視点ほか、3種類の画面で本物そっくりのレースシーンが楽しめます。さらに、コースもSUGOやつま恋、大井松田など実在するカートコースがそのまま登場。オリジナルを含めた計9コースが用意されています。

そして、極めつけはレースモードのラストレースで現れる「アイルトン・セナ」の一騎打ち。



どこまでF1チャレンジャーに迫れるか、ウデの見せどころです。このほか、初心者のためにカンタンに操縦感覚を習得できるヒコナキモード、ヤマハターボレースも搭載。楽しさ満点。情報満載のゲームソフトです。●8800円。対応機種：プレイステーション発売：GAPS INC. (TEL: 06-4438-2330)

初勝利!! SUGOでも2勝目の芳賀健輔
堂々のランキングトップ快走中!



「初優勝よりも、接戦で勝てたSUGOのほうが嬉しい」という芳賀健輔

全日本選手権ロードレースは、7月7日の段階で第6戦を終了。そのなかで、YRTから250ccクラスに出場している芳賀健輔が、これまでに2勝を挙げているランキングトップに立っています。

まず8月9日に行われた第4戦・鈴鹿大会、ポールポジションから好スタートを切った芳賀は、沼田憲保(スズキ)、加藤大治郎(ホンダ)らを従えて1周目からハイペースで飛ばします。ウエットの難しいコンディションでペースが上がらないなか、芳賀に追いつくのは、同じくTZ250を駆る本間利彦だけ。2台で激しい首位争いを展開しながら、みるみるうちにリードを広げていきました。

分なアドバンテージを築いたふたり。そこから芳賀は、さらにペースを上げます。本間も一度はついて行こうとしたものの追いつけず、ラスト5周あたりでついに2位キープの走りに切り換えました。一方、最後までペースを緩めなかった芳賀は、20秒以上の大差をつけてトップでゴール。嬉しい全日本選手権初勝利となりました。

この結果、単独のランキングトップに立った芳賀は、続く第5戦で、1秒の中に5台が飛び込む大接戦の末に3位を獲得。さらに第6戦では、沼田との一騎討ちの首位争いを100分の4秒差で制して2度目の優勝をゲット。2位に18ポイント差をつけてランキングトップをキープしています。

またスーパーバイククラスでは、着実にポイントを重ねている藤原健彦がランキング4位、芳賀紀行も、怪我による欠場などからランキングはもうひとつですが、第2戦では全日本初優勝を果たして勢いに乗っています。鈴鹿8耐では、このふたり、どんな活躍を見せるでしょうか。



ランキング4位の藤原健彦は、2位の武石伸也もワザキまでわずか6ポイント差

RACE RESULTS

大会	順位	選手	メーカー	大会	順位	選手	メーカー
[AMA・NX] 第5戦/ハッスクリーク(8月16日) <250>	1	マクグラス	ホンダ	<125>	1	青木拓磨	ホンダ
	2	エミツ	カワサキ	1	徳留真紀	アプリリア	
	3	ラロッコ	スズキ	2	ヘルジーニ	アプリリア	
	4	ヘンリー	ヤマハ	3	青木治親	ホンダ	
	5	ブートン	ヤマハ	[WSB] 第4戦/イタリヤ(8月16日) <ヒート1>			
	6	ルイス	ヤマハ	1	フォガティ	ホンダ	
	7	ラムソン	ホンダ	2	スライ	ホンダ	
	8	ダウド	ヤマハ	3	エトワース	ヤマハ	
	9	アンツネス	カワサキ	4	ウィットハム	ヤマハ	
	10	ウインダム	ヤマハ	5	エトワース	ヤマハ	
第8戦/サウスウィック(8月23日) <250>	1	マクグラス	ホンダ	6	ウィットハム	ヤマハ	
	2	エミツ	カワサキ	7	キリ	ドカティ	
	3	ヘンリー	ヤマハ	8	スライ	ホンダ	
	4	ブラッドショー	ヤマハ	9	フォガティ	ホンダ	
	5	ブートン	ヤマハ	10	エトワース	ヤマハ	
	6	ラムソン	ホンダ	11	ウィットハム	ヤマハ	
	7	ラスク	スズキ	第5戦/チェコ(8月30日) <ヒート1>			
	8	シーク	スズキ	1	コルサ	ドカティ	
	9	ウインダム	ヤマハ	2	フォガティ	ホンダ	
	10	ダウド	ヤマハ	3	スライ	ホンダ	
第7戦/ブキャナン(7月7日) <250>	1	エミツ	カワサキ	4	エトワース	ヤマハ	
	2	マクグラス	ホンダ	5	吉川和多留	ヤマハ	
	3	ラロッコ	スズキ	6	コルサ	ドカティ	
	4	ブラッドショー	ヤマハ	7	スライ	ホンダ	
	5	ルイス	ヤマハ	8	フォガティ	ホンダ	
	6	ブートン	ヤマハ	9	エトワース	ヤマハ	
	7	ラムソン	ホンダ	10	ウィットハム	ヤマハ	
	8	フェリー	スズキ	[WGP・MX250] 第7戦/フィンランド(8月16日) <ヒート1>			
	9	ラスク	スズキ	1	ヘルプーツ	スズキ	
	10	ダウド	ヤマハ	2	カールゾン	ホンダ	
第7戦/オランダ(8月29日) <500>	1	ドゥーハン	ホンダ	3	ポラント	カワサキ	
	2	クリビール	ホンダ	4	デマリア	ヤマハ	
	3	ハロス	ホンダ	5	カールゾン	ホンダ	
	4	ロバーツJr.	ヤマハ	6	デマリア	ヤマハ	
	5	阿部典史	ヤマハ	7	カールゾン	ホンダ	
	6	バル	ヤマハ	8	エバーツ	ホンダ	
	7	ウォルドマン	ホンダ	9	バルトリニ	ホンダ	
	8	フークス	ホンダ	10	バルトリニ	スズキ	
	9	ピアッジ	アプリリア	第8戦/イギリス(8月23日) <ヒート1>			
	10	アルツァモラ	ホンダ	1	エバーツ	ホンダ	
第7戦/オランダ(8月29日) <500>	1	カタローラ	ホンダ	2	バルトリニ	ホンダ	
	2	ドゥーハン	ホンダ	3	バルトリニ	スズキ	
	3	クリビール	ホンダ	[FIG P] 第8戦/カナダ(8月16日)			
	4	ロバーツJr.	ヤマハ	1	ヒル	ウィリアムス	
	5	阿部典史	ヤマハ	2	ビルヌーブ	ウィリアムス	
	6	ウォルドマン	ホンダ	3	アレジ	ベネトン	
	7	ジャック	ホンダ	第9戦/フランス(8月30日)			
	8	フークス	ホンダ	1	ヒル	ウィリアムス	
	9	ピアッジ	アプリリア	2	ビルヌーブ	ウィリアムス	
	10	アルツァモラ	ホンダ	3	アレジ	ベネトン	

全日本選手権モトクロス第5戦で
鈴木健二が両ヒート表彰台をゲット

全日本選手権モトクロスは、7月7日の北海道わつさむ大会で第6戦を終了。この時点で、ヤマファクトリーチームの鈴木健二、光安鉄美、増田智義の3選手は、それぞれランキング7位、9位、21位につけています。

なかでも鈴木は、第5戦・SUGO大会で第1ヒート3位、第2ヒート2位の総合2位と大健闘。今季初の表彰台獲得と同時に、それまでのランキング9位から5位に大きくジャンプアップしました。

しかし、続く第8戦は、第2ヒートのノーポイントが響いて総合8位に留まり、残念ながらランキングをふたつ下げて7位。夏場の盛り返しに期待したいところで、また開幕戦でいきなり総合8位に入った光安ですが、その後はリタイアも多く、増田も、バンクや接触転倒などアンラッキーなレースが続いています。それでも一発の速さ

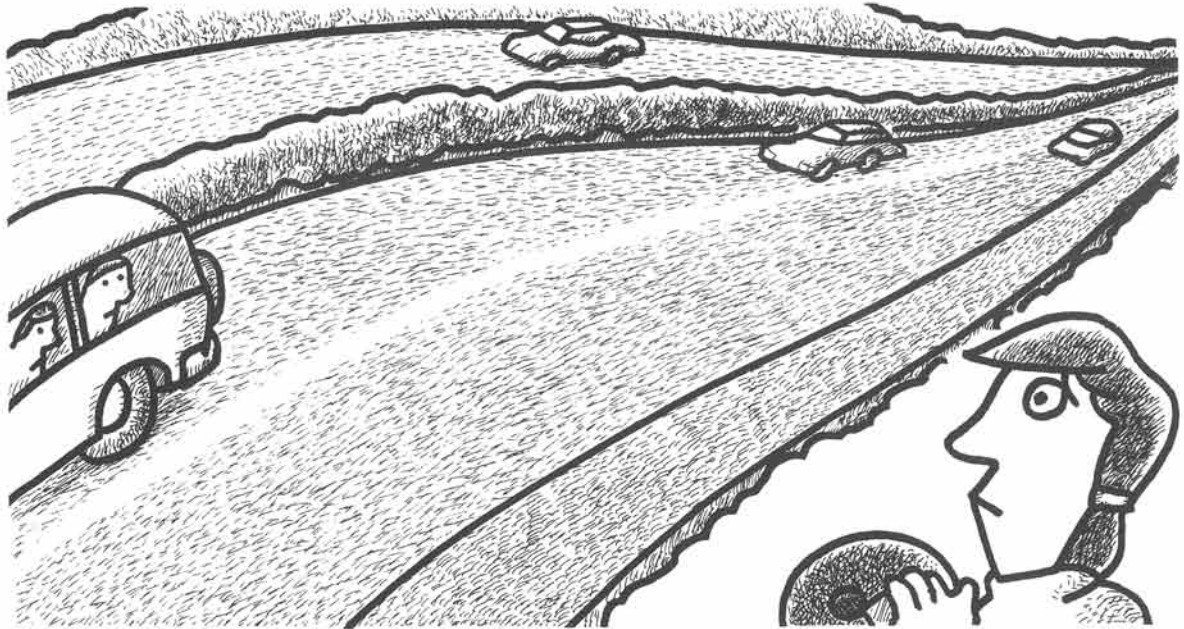
を秘めたふたりだけに、レースはまだこれから、終盤に向けてどう調子を上げてくるか、楽しみです。

一時はランキング5位に浮上した鈴木健二だが...



■レースカレンダー(8月~9月)

月	日	世界選手権					全日本選手権			AMA選手権		
		F1	RR	ED	SB	125MX	250MX	500MX	RR	MX	TR	SX
8	4		オーストリア		イギリス		フランス	ベルギー	長野	北海道		ミルビル
8	11	ハンガリー					ベルギー	7MINE				
8	18		チエコ		インドネシア		ベルギー					ワッシュガール
8	25	ベルギー			SUGO	ドイツ		スウェーデン				ビンバント
9	1		イタリア				スイス		四国			デルモント
9	8		イタリア		オランダ		ドイツ	鈴鹿		中国		
9	15		ヨロップ					SUGO				
9	22	トルトガル			ポルトガル24H			筑波		九州		
9	29											



今月のテーマ

女性ライダー

先日、とある店主さんとの会話の中で、こんな話を聞きました。

「女の子がたくさんバイクに乗ってた時期には、店の中にも活気があつたんだよね。ほら女の子が店の中いると、こっちが黙つても空気が華やかから。最近、定例ツーリングの参加者も減つてきているんだけど、女の子が来てくれると男も集まりやすいんだけどね……」

女性ライダーが急激に増えたのは、'80年代のバイクブームと呼ばれたころでした。女性にターゲットを絞った専門誌も登場し、当時は女性をまじえたマスツーリングも盛んに行なわれていました。

ところが最近はどうでしょう。あれほどたくさんいた女性ライダーを、街でほとんど見かけることがなくなつてしまいました。女性のエントリー層が減っているのはもちろんのこと、以前は乗っていた人までもがバイクから降りてしまっているようなのです。

彼女たちがバイクから離れた理由として、まず頭に浮かぶのが「結婚」「出産」といったライフスタイルの変化です。実際にこうしたケースが多いのは明らかですが、本当に理由はそれだけなのでしょうか？

デイパージョンに乗る女性ライダー、バイク歴2年のAさんに聞きました。

「もともとバイクの免許を取ったのは、北海道ツーリングに憧れたからなんです。でも北海道なんて夢のまた夢、伊豆あたりの近場でも一人じゃ怖くていけないですからね。いま一番の欲しいのは、バイクのことをいろいろ教えてくれるツーリングメイトです」

一方、このゴールデンウィークに初めてロングツーリングに出かけた愛知県のBさんは――

「高速道路でバイクが止つてしまったんです。本当に怖かった。たまたま親切な人に助けってもらったけど、もう一人では絶対に出かけられません」と話します。彼女たちは二人揃つて「バイクにはまだ乗っていたい」と話してくれました。しかしこの先、不安を抱えたままの状態では、二人のバイクライフもそう長いとは思えません。近い将来、消化不良のまま、バイクを降りてしまうことになるでしょう。

たとえばこんな時、信頼できるお店がそばにあつたら、また「一緒に走りに行こう」と誘ってくれる人がいたら、二人の未来も違ってくるかもしれません。

ラインナップ充実 '97ヤマハカレンダー

ヤマハカレンダー'97年版のご注文受付が、7月1日より始まりました。

今回は、おなじみ『レーシングカレンダー』に加えて、
二輪と人々が織りなす様々な世界を表現した『モーターサイクルカレンダー』も新登場。
企業カレンダーと合わせてどうぞご利用ください。

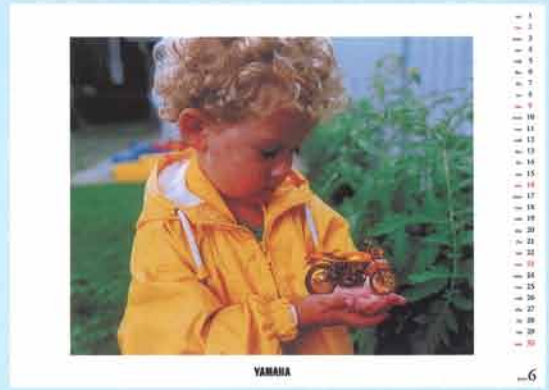
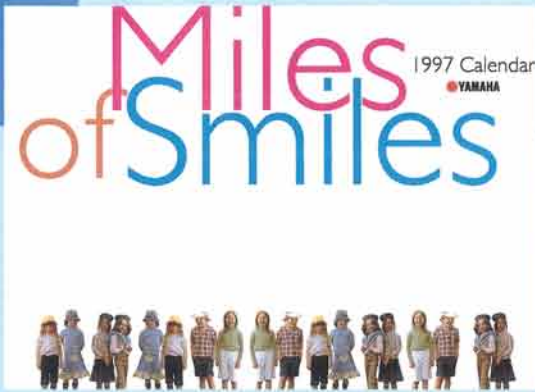
企業カレンダー

Miles of Smiles

夢と感動を艺术的に表現

世界の子供たちが会える製品と語り合うようなコラージュ表現がイメージリーダーとなって、人々が持つ遊び心や夢を描きます。製品を通じて夢と感動の橋渡しを願うヤマハならではの魅力あるカレンダーです。

● B3判、表紙1枚・本誌12枚、印刷全4色



1997 CALENDAR

Racing the Yamaha Spirit



YAMAHA



レーシングカレンダー

Racing the Yamaha Spirit

レースシーンの興奮を再現

世界グランプリからAMAスーパークロスまで、それぞれのレースシーンならではの象徴的な走行シーンを厳選。B2サイズの迫力あるデザイン処理で、ヤマハのチャレンジスピリットをダイレクトに訴求します。

● B2判、表紙1枚・本紙6枚、印刷全4色

- 1 / 2月 エディ・オリオリ(グラナダ〜ダカール・ラリー)
- 3 / 4月 原田哲也(世界選手権ロードレース250ccクラス)
- 5 / 6月 ディモン・ブラッドショー(AMAスーパークロス)

- 7 / 8月 最高位獲得ライダー(鈴鹿8時間耐久ロードレース)
- 9 / 10月 阿部典史(世界選手権ロードレース500ccクラス)
- 11 / 12月 イヴ・デマリア(世界選手権モトクロス250ccクラス)

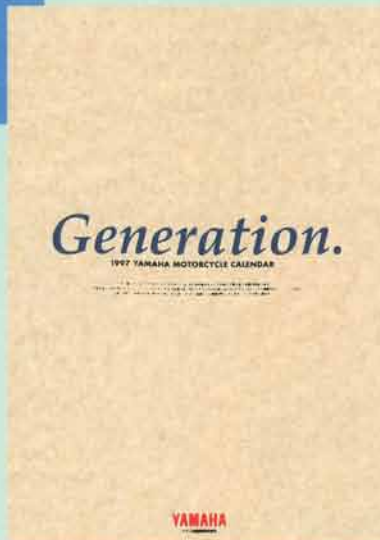
モーターサイクルカレンダー

Generation

世代を超えた共通の言葉 "バイク"

'97年度新たに登場するカレンダー。モーターサイクルを通じ、人と人とのふれあいを美しい日本の風景に織り込みながら展開する新企画です。新しいコミュニケーションツールとしては是非ご利用下さい。

● B3判縦仕様、表紙1枚・本紙6枚、印刷全4色



* カレンダーの写真やデザインなどは、制作中のため一部実物とは異なる場合があります。

* お申し込みは専用オーダーシートにてお願いいたします。

'97ヤマハロードレーサー TZ125

'97 ヤマハロードレーサーTZ125 <メーカー希望小売価格>
10月1日発売 998,000円

※北海道、沖縄および一部地域を除く。価格には、消費税は含まれません。

主な変更点

エンジン関係 → 燃焼室形状の変更とシリンダーヘッドへのインサートの追加、インテークマニホールド吸気通路部の形状変更、クラッチのクッションスプリング追加、CDIマグネターの点火進角特性変更

車体関係 → リヤアームのエンド部延長・スタンドフックの別体化、フロントフォークの剛性・作動性向上、ステアリングシャフトの締付構造変更、シートカウルの形状変更、スプロケットダンパーの個数と材質変更、フロントタイヤのラジアル化、前後タイヤのサイズアップ、フロントブレーキディスクの大径化

●カラーリング：ホワイト

※実際の車両には、カラーリングは施されていません。

'97ヤマハロードレーサー TZ250

'97 ヤマハロードレーサーTZ250 <メーカー希望小売価格>
11月1日発売 1,820,000円

※北海道、沖縄および一部地域を除く。価格には、消費税は含まれません。

より戦闘力を向上させたVツイン

Vツイン搭載7年目となる'97「TZ250」は、従来モデルの優れた性能をそのままに、サスペンションのリファイン、ディメンションの変更などにより操縦安定性の大幅なレベルアップを達成。さらに'97年より施行されるレースガソリンの無鉛化にともない、シリンダーヘッドの形状・材質を変更するなど、新レギュレーション下で安定した性能を発揮できるモデルに仕上がっています。

主な変更点

エンジン関係 → 燃焼室形状およびシリンダーヘッドのインサート材質変更、シリンダーヘッド取付部のシール性・耐久性向上、インテークマニホールド吸気通路部の形状変更、エキゾーストパイプの設計変更、CDIマグネターの点火進角特性変更

車体関係 → フレームディメンション変更、オーリス製リアクッションの採用、リヤアームのエンド部延長とガイドチェーンの採用、アーム・リレーのレバー比の変更、フロントフォークの構造変更、ハンドルクラウンの形状変更、フロントブレーキディスクの大径化



●カラーリング：ホワイト

※実際の車両には、カラーリングは施されていません。

ゆったりポジションを実現するボルトオンパーツ ドラッグスター用シングルシート (フォワードタイプ)

メーカー希望小売価格
15,000円

(取り付け工費、消費税は含まず)

バックレスト部分に厚みを持たせたシングルシート。標準シートと比較して着座位置を50mm前進させます。



ヴィンテージヘルメットTDシリーズに、フィル・リードモデル誕生 TD-1GP フィル・リード

メーカー希望小売価格
12,800円 (消費税は含まず)

ファッション派ライダーに高い人気を誇るTDシリーズに、'60-'70年代のスターライダー、フィル・リードの復刻レプリカモデルが誕生。TDシリーズのイメージライダーとしてご案内ください。

- サイズ：フリー
- カラー：ホワイト/ブラック
- 規格：JIS A種



New Model [apow man]

シャープさを強調した新色登場 ヤマハスクーター 『ジョグ』(CY50)

ヤマハスクーター『ジョグ』(CY50)

8月1日 新発売

<メーカー希望小売価格>
132,000円

※北海道、沖縄および一部地域を除く。価格には、税金(含む消費税)、登録に伴う諸費用は含まれません。

心地良い“マイルド発進特性”を強調したヤマハスクーター『ジョグ』の'96モデルに新色「ファインシルバー」が仲間入り。夏季のマーケット活性化を図ります。



●追加カラー：ファインシルバー

**Color
Order
System**

TRX850の世界をさらに広げる **10** カラーバリエーションをラインナップ

TRX850カラーオーダーシステム

ルネッサで好評の『YECカラーオーダーシステム』がTRX850にも登場。
TRX850をより个性的に、より魅力的に演出する10カラーを、
新車購入のお客さまにご案内ください。

ライトグレーメタリック3/色番号 (50)



TRX850カラーオーダーシステム (希望小売価格)
50,000円 (税別)

アンダーカウル

35,000円 (税別) ※アンダーカウルはオプションです。

- 新車購入時のみの適用となります。
- 本体価格は含まれていません。
- 補修カラーパーツを用意しています。
- ダークパーリッシュブルーメタリック2/色番号(56)のみフレームは赤、ホイールは黒となります。他はすべてフレームは白、ホイールは白となります。



レディッシュイエローカクテル1/色番号(51)



ダークシアンカクテル2/色番号(52)



パーリッシュブルーメタリック7/色番号(53)



ディーレッドカクテル2/色番号(54)



ペリーダークブルーメタリック3/色番号(55)



ダークパーリッシュブルーメタリック2/色番号(56)



ビビッドオレンジメタリック2/色番号(57)



ディーバイオレットメタリック1/色番号(58)



ブラック2/色番号(59)

取扱い



株式会社ワイイーシー ☎ 0538 (37) 4488

